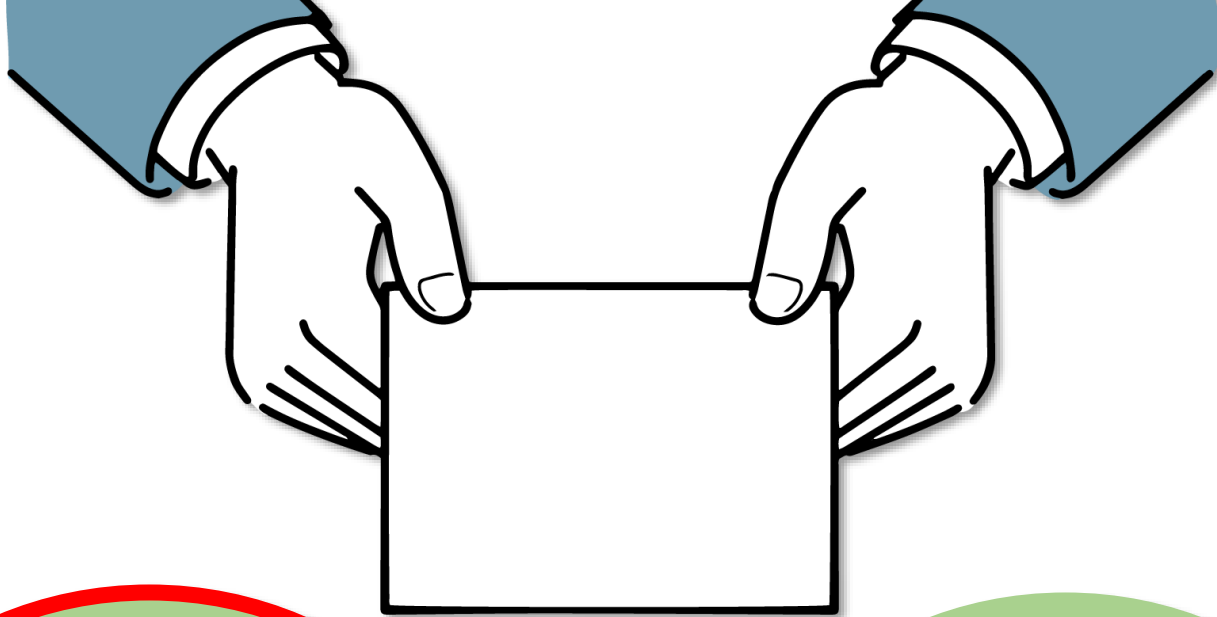


**NPO法人新宿環境活動ネット
代表理事**

飯田 貴也





①

団体紹介

②

自己紹介

「新宿環境活動ネット」事業内容

社会教育施設・都市公園などにおける
環境教育/ESD事業をコーディネート。

2004年4月～

エコギャラリー新宿

新宿区立環境学習情報センター【東京都新宿区】



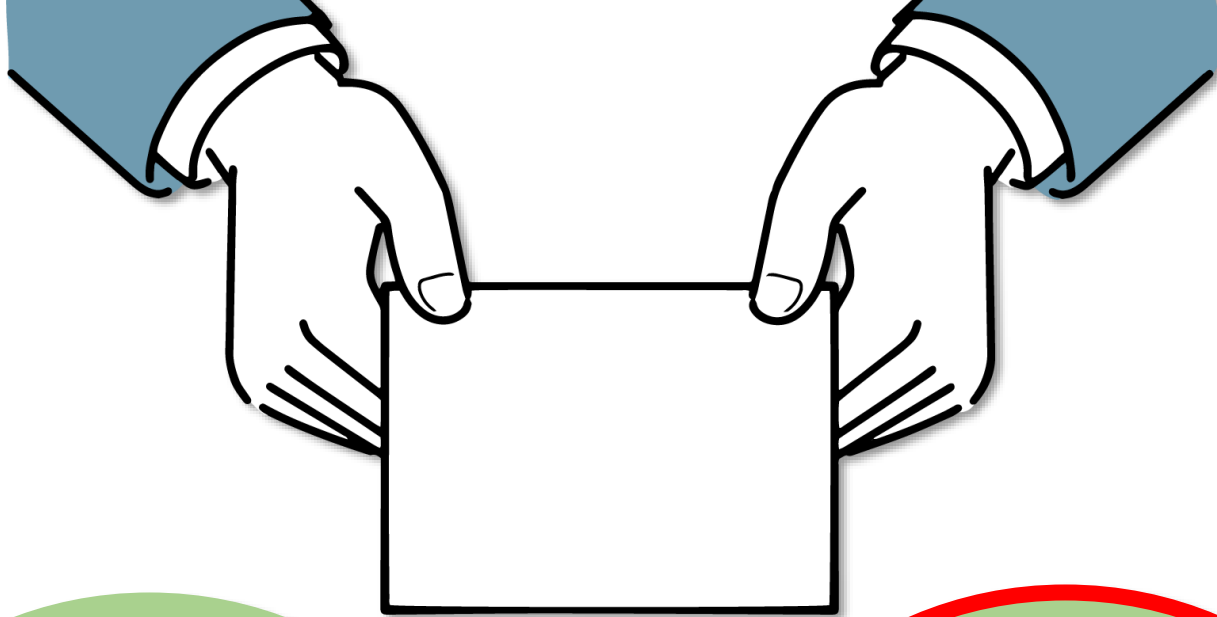
むさしのエコreゾート
【東京都武蔵野市】



戸吹スポーツ公園
【東京都八王子市】



三川公園
【神奈川県海老名市】



①

団体紹介

②

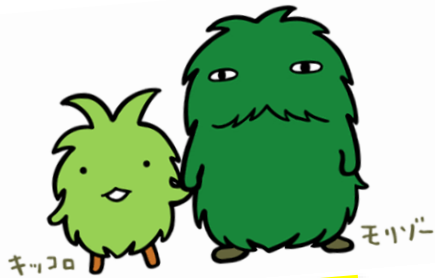
自己紹介

15歳.....18歳.....25歳.....32歳

高校

大学・大学院

NPO職員



愛・地球博



インターンシップ



次世代育成 (ESD)

ユースイベント

ユースコミュニティ



高校生環境連盟



ESD日本ユース
コンファレンス



ESD日本ユース



TEMM
ユースフォーラム



日本ESD学会
若手の会

ユースとは？

学生？

18～35歳？

シニアとは？

55歳以上？

65歳以上？

ESDの活動をされている

ユースのご意見を伺いたいんですが…

●●について、
ユースの立場として
どう思いますか？

PROJECT 2021年09月27日 07時58分 JST

「若者代表」と見られる違和感。23歳、アクティビストの私が、メディアの社外編集委員になった理由。

ハフポスト日本版のU30社外編集委員に就任しました。どうぞよろしくお願いたします！



ユースの代表性？

ユースに内包される多様性

特集 国際連合「持続可能な開発のためのアジェンダ2030 (SDGs)」と学術、科学技術
若い世代の取り組み

大学院生のSDGsへの取り組み

和田 恵

大学院生とはどのような存在か。今までユースとして、学生としてSDGsの取り組みを行ってきたが、「大学院生」としてどのようにSDGsに貢献できるのか。大学院生は学部生よりアカデミックな専門性が高く、研究者に比べれば若いというアドバンテージがあるという特徴を持つ。すなわち、大学院生とは社会問題に対して学術的アプローチを武器に、若者視点から課題解決に取り組み、社会にインパクトを与えられる可能性を秘めた人材ではないか。また、一口に大学院生といっても、「ユース」「研究者」「学生」「就活生」など様々な属性を内包しているため、課題解決の際にも、様々な視点から分野横断的に考えられ、かつ自分のアクションの際に様々な所属する団体を巻き込んで大きな流れを作る力があるのではないかと。

私は2015年の春から慶應義塾大学賢江憲史研究会（ゼミ）を中心に、SDGsに3年間取り組み続けた。学部生の頃から大学院修士課程1年である現在までに行ってきた3つの活動を紹介します。大学院生がSDGs達成のために果たせる役割と可能性を考える。

一つ目は、学生である特性を活かした「キャンパスSDGsプロジェクト」である。これは学生の生活の中心であるキャンパスで、学生に向けてSDGsを普及啓発するプロ...

にて、100種類2500枚のSDGsを説明するステッカーをキャンパス中に貼り、認知度変化を計測した。ステッカーは多くの学生が集まる教室や食堂を中心に、トイレには目標6（水と衛生）、ゴミ箱には目標12（持続可能な消費と生産）など関連する場所に関連する目標のシールを貼った。さらに、プロジェクトの成果を向上させるため、企画段階から外部の有識者などに知見を併り、大学の学事・生協・メディアセンター（図書館）などキャンパス内の各施設を管理している団体に協力を要請し、また企業に共同研究として資金面で協力を得るなど様々な方法を巻き込みながら推進した。その結果、3週間のプロジェクト期間の前後で、SDGsを知っている学生は2割から8割へ上昇させる成果を上げることが



共工事、基地）と呼ばれ、...
...によるサンゴ礁...
様々な課題が複雑に...
...を分析するた...
...の「インターリン...
SDGs169ターゲット...
ホルダーの関係...
が「トレードオ...
データを取得...
トレードオフ...
...を検討す...
村民の考え...
で見つけ出...
...のステッ...
月末に行...
...について...
学SFC...
...でも...
...が、...

これまでの持続可能な社会の担い手づくり（ユース）

・代表的な国内のESDユースネットワーク

ESD日本ユース コンファレンス



【時期】 2014年2月～
【主催】 文部科学省 他

2014～2019年度まで、毎年1回コンファレンスを開催してきた。その後、参加者を中心としたネットワークとして「ESD日本ユース」が生まれ、イベントなどを通じて交流を継続している。

RCE日本ユース



【時期】 2019年2月～
【主催】 国連大学

2019年2月に北九州で第1回「RCEユース会議」を開催。国内7か所のRCEで活動するユースらが集まり、活動紹介や連携の可能性を探った。その後、持ち回りで活動を展開している。

日本ESD学会 若手の会



【時期】 2019年8月～
【主催】 日本ESD学会

2019年8月に宮城で「若手の会」設立記念プレイベントを開催。その後、若手研究者・実践者らが集まり、定期的な勉強会や情報交換会などを開催している。

これからの持続可能な社会の担い手づくり（ユース）

・ GAPにおける5つの「優先行動分野」

政策的
支援

機関
包括的
アプ
ローチ

教育者

ユース

ローカル
コミュニ
ティ

第2期「ESD国内実施計画」のポイント！

「優先行動分野の促進」 &
「ステークホルダー間のパートナーシップの促進」

デジタルネイティブ世代
SDGs/ESDネイティブ世代としてのユース

ユースのネットワークは、
マルチステークホルダーネットワークの種蒔き